



第15回 Régions de France (全仏州連合会) 総会 ～地域に応じた政策を実現できる地方分権～

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 星 奏衣 (札幌市派遣)

全仏州連合会とは

全仏州連合会 (Régions de France) は、州議会議長会を母体に 1998 年に発足した組織です。首長を兼ねる州議長らが他州と情報交換や政策提言を行う他、全仏メール (首長) 会、全仏県連合と共に政府や国会へ国・地方間関係の改善や地方分権の推進を求める活動等も行っています。クリアパリ事務所では仏自治体との連携強化や情報収集のため、毎秋同連合会総会に出席しています。

第 15 回総会

15 回目となる今年は、9 月 30 日と 10 月 1 日に、フランス第 5 の都市・ボルドーで、「私の州は私のために行動する」をテーマに開催されました。初日はボルドーを州都とするヌーヴェル・アキテーヌ州のアラン・ルセ議長が開会宣言とともに 9 月 26 日に逝去したジャック・シラク元大統領への追悼演説を行い、参加者による黙祷が捧げられました。



ジャック・シラク元大統領への追悼演説

分科会では、2016 年の合併で広大な地域を所管することとなった州のサービスを、住民に、より身近にする取り組みが議論されました。例えば 3 州が合併してでき

たグラン・テスト州は、当初旧アルザス州のみが設置していた「メゾン・ドゥ・ラ・レジオン (地域事務所)」を合併後の州全域に設置したことで、同事務所が、地域の行政に関して州と住民の接する場になったと発表し、その実情について議論されました。

今後の地方分権の行方

フランスではより進んだ地方分権が重視されており、本総会でも、地域に合った政策を地域の实情にあわせて行える地方分権の重要性が繰り返し強調されました。

エドゥアール・フィリップ首相は演説で、州ごとのニーズに応じた政策の必要性を認め、その実現のための地方分権、地方分散、地域差異化に関する法律 (仮称 3D 法) を、3 月のコミュン議会選挙後に国会提出すると述べました。しかし演説後、参加した州議長らからは、新たな地方分権について具体的な提案がなく、地方に対する信頼が感じられない、といった反応が続きました。閉会時の演説者は、地方自治体の代弁者とも目される上院のジェラルド・ラルシェ議長でしたが、深まり続ける社会の亀裂の解決には新たな地方分権が鍵であると述べ、その実現のためには、国は地方自治体に信頼を置き、州ごとの特性に応じた政策をとる自由と十分な財源を認めることが必要であると熱弁を振りました。



演説を行うエドゥアール・フィリップ首相